



今月の記事

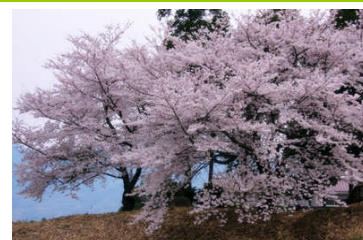
被災者を覚えて

新年度の愛の園

春祭り

設備職員

今月の愛の園



東日本大震災 被災者を覚えて

東日本大震災から1ヶ月がたちました。お亡くなりになられた方々の魂が安らかでありますように、ご遺族の皆様にはたくさんの慰めが与えられますように、心よりお祈りいたします。また、不自由な避難生活を余儀なくされている方々、かけがえのない財産をなくされた方々、故郷を離れざるを得ない方々、様々な立場・方法で被災者の支援に当たられている方々の上に、神様のお恵みとお守りが豊かにありますようお祈りいたします。

被災地は地震、津波、火災、放射能汚染、風評被害、ライフラインの途絶によりこれまでに経験のない極めて甚大な被害を受けました。愛する人や懐かしい故郷との別離に多くの方々が傷つき苦しんでいます。生活の基盤である住まい、仕事、学び舎を失い、再建の道筋を描くことに絶望し

ている方々も多くあります。各地の高齢者施設にも大きな被害が出ており、同じ役割を担う者として心を痛めます。南海地震に備え他人事ではないとの思いを新たにしています。

被災地の復興にはこれから長い年月と多くの資金が必要となります。そのためには私たちが被災地の方々への関心を持ち続け、寄り添い続けなければなりません。また具体的な支援の継続が求められています。

愛の園でも全国老人福祉施設協議会を通じた支援に加わってゆきます。また、先月14日から来園者と職員に向けた義援金の募金を開始し、3月末現在で83,110円をお寄せいただきました。ご協力感謝いたします。募金活動は9月末まで行う予定です。募金箱は1階事務所カウンターに設置していますので、ご来園の折にお立ち寄りいただければ幸いです。



春祭りに彩りを添えた桃と桜が玄関を飾っています

2011年度の愛の園

新しい年度を迎え、愛の園では新たな目標に向かっての歩みが始まりました。「キリストの愛を以って互いに仕える」ことを基本として、1. 理念の継承、2. サービスの質の向上、3. 職員の資質向上、4. 地域との連携、を事業計画に掲げています。

ことに、サービスの質の向上については、愛の園の各部署や各ユニットにおいてそれぞれに事業計画を具体化するための独自課題を掲げています。また、神愛会全体としてもこれからの重要なテーマである認知症ケアの充実、5年目となるユニットケアの充実を課題とし、運営の工夫や研修への参加をすすめてゆきます。また食事の充実をテーマとし、飲み込みの難しい方への提供方法など、おいしい食事を安全に召し上がっていただくための工夫に意を用いていきます。事業計画書は各ユニット・玄関・ホームページでご覧いただけます。

それぞれのユニットではユニットリーダー

園長 武藤直二

を含む一部の担当職員の配置換えが行われました。これは職員の採用・異動に対応して介護力の均衡を図るとともに、各々の介護職員に対し新しい課題をもって業務に臨んでもらうことを期待して行われています。これまでの馴染みの関係が遠のくことを心配される入居者の方々もおられますし、ご家族の皆様にとっても新たな職員との関わりが生じることとなりご負担をお掛けすることとなりますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

1月から4月にかけて新たに5名の介護職員が採用されています。不慣れなこともあります。よろしくお祈りいたします。



4月1日の全体職員会で事業計画を確認しました



賑やかに！「春祭り」開催 池田貴之



ちんどん屋さんが来園してチラシを配ってくれました(上)
アトラクションで大正琴の演奏に聞き入る入居者の皆さん(右)

3月初旬より職員による春祭り実行委員が集まり準備を進めてきました。各ユニット・フロアの飾りつけやポスターの掲示、焼きそばやたこ焼き等を作るテントの設置、ご家族の皆様へのお知らせ等に各部署が連携し、入居者、ご家族の皆さんと春祭りの楽しい時間を共有できたと思っています。

但し、春祭りは私達実行委員だけではなくご家族の皆さん、ボランティアに来て下さる皆さんの協力のもとに成り立っています。一例を紹介させていただきます。

春祭りの数日前に、地元有志の方々10名がちんどん屋となって来園して下さるとのお電話を頂きました。当日は色とりどりの衣装に身を包み、太鼓やトランペットで演奏しながら各ユニットを3階から1階まで訪問し春祭りのチラシを配って下さいました。入居者の皆さんもとても喜ばれていました。

また、午後からは「すずらん」の皆さんによる大正琴の演奏に入居者の皆さんも聞き入っておられる様子が見られました。

玄関に置いている桃や桜の枝は入居者のご家族が車でご持参下さり、花瓶へ入れさせていただいたものです。

紙面の都合上すべてのお支えをご紹介できませんが、まだまだたくさんの方々のご協力をいただいております。

このようにして春祭りを無事楽しく終えることができたこと心から感謝しています。ありがとうございました。



私の仕事(6) 設備職員 小倉直樹

設備室は職員2名が法人本部に属して、生馬と岩田にある施設の維持管理や防火管理等の業務に携わっています。

主な業務として、各種設備機器・建物についての保守契約、日常の点検・運転、故障時のメンテナンスなどや、福祉車両等の管理・整備、施設の備品や介護用品等の価格交渉・仕入れ及び在庫管理、施設内外の環境整備、行事の準備、愛の園での宿直など、裏方でのご仕事が多くあります。

中でも重要な業務に施設に義務付けられている毎年2回の防災訓練の実施があり、昼間想定訓練と夜間想定訓練とを各1回実施しています。内容は通報・初期消火・避難誘導などで、消火器や消火栓を用いて消火の実技訓練も行います。また、職員の緊急呼び出し訓練を毎年1回実施し、

日頃から職員が火災をはじめとする災害に対する意識を持ち続けられるよう、防災安全体制の維持に努めています。

3月の春季全国火災予防運動期間中に、日頃から事業所の火災予防と消防用設備等の良好な維持管理に努め特に功績のあった優良防火管理者として、塩地良市前主任が上富田消防署管内から唯一人選ばれ表彰を受けました。18年間に亘る防火管理者としての働きが認められたことを、神愛会職員の一人として誇らしく、また嬉しく思います。



小倉直樹(左)と塩地良市

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
Web サイトアドレス:
<http://shinai.or.jp>

4～5月の愛の園

- 11月 ボランティアの集い
- 12月 マリア会
- 14月 やまびこ会
- 15日 日高光路コンサート・社協ボランティア
- 17日 日曜礼拝・おめかしクラブ
- 18月 マリモと愉快的仲間達
- 21月 やまびこ会
- 24日 イースター日曜礼拝
バイオリンコンサート
- 26日 ひまわり会
- 27日 訪問歯科診療
- 28月 やまびこ会
- 1日 日曜礼拝
- 6日 母の日お祝い

編集者から

「ママ、待ってるからね。」

岩手県宮古市の女兒(4)が行方不明のママに手紙を書くと言い、1文字1文字1時間近くかけて手紙を書き、海辺で一人ママの帰りを待っているという新聞記事を読み、心が引き裂かれる思いがしました。

東日本大震災による死者は1万2千人を超え、行方不明者も1万5千人以上とのこと。微力ですが、今、自分にできる支援をしっかりとしていきたいと思っております。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。(！)